



生徒も教師も毎日  
「わくわくする学校」



教育目標  
(長期)

# 自立貢献

～人の役に立つ喜びを実感できる生徒の育成～

3rd stage(発展期) 「共に前進」

本県・本市の教育

- いばらき教育プラン
  - ・一人一人が輝く教育立県を目指して  
～子どもたちの自主性・自立性を育もう～
- 行方市教育基本テーマ
  - ・自然と歴史に育まれ 未来を切り拓く  
心豊かで たくましい人づくり
- 行方市学校教育の重点施策5つの矢

信頼 目指す学校像

- ◆安心・安全な学校
- ◆認め合い、助け合い、協力し合える学校
- ◆一人一人が活かされ活躍できる学校

玉中に通わせてよかった

笑顔 目指す生徒像

- ◆自分で考え、自分で判断し、行動できる生徒
- ◆友だちを思いやり人のために汗をかける生徒

玉中生でよかった

やりがい 目指す教師像

- ◆生徒を深く理解し、情熱をもって指導できる教師
- ◆学び続ける教師
- ◆教育の充実のために創造的なアイデアを生み出す教師

玉中で働けてよかった



働きやすい職場づくり

- 業務の改善(「効率化」「平準化」)
  - ・学級担任、部活顧問複数制
  - ・年次休暇取得の推進
- 教職員の意識改革(「スクラップ&ビルド」)
  - ・働き方推進委員会の設置
  - ・生徒下校後2時間以内退勤

地域に開かれた信頼される学校  
(生徒の力で玉造を元気にする)

- 学校だより(毎週)、HP(毎日)での情報発信
- 「たいせつです」運動の推進
- 学校評価の実施と結果の公表・改善(HP上で公開)
- 地域の行事等(クリーン作戦等)への参加

【数値目標】 「学校のことは分かっている」と回答する保護者 90%以上 (R1/86%)

組織目標  
(短期)

1. 生徒が意欲的に取り組み「わかった」と実感できる授業づくり
2. 生徒一人一人の「居場所」と「絆」のある学級(学年)づくり

教職員の資質向上  
(人づくりは人づくりから)

- 授業改善への挑戦
  - ・毎月1回代表授業研究の実施
  - ・相互授業参観の日常化(玉中メソッド)
  - ・先進校視察・交流
  - ・県教育研修センター研究協力校
- 一人一人を伸ばすための教員評価の活用

【数値目標】 「授業力が向上していると実感」と回答(A評価)する教師 30%以上 (R1/24%)

教育方針 生徒が主役

～一人一人のよさを認め、生かし、自信をつけさせる～

学び合い

社会で活用  
できる学力を  
育みます

- 【数値目標】
- 「授業がよく分かる」と回答(A評価)する生徒 55%以上 (R1/49%)
  - 「すすんで授業に取り組んでいる」と回答(A評価)する生徒55%以上 (R1/53%)
  - 平日の家庭学習の時間90分以上 40%以上 (R1/19%)

【具現化のための主な取組】

1) 生徒が意欲的に取り組み、「わかった」と実感できる授業を行います。

- ・全教科で玉中授業スタイルの実施(生徒の活動・対話が、振り返りの時間の確保)
- ・ICTの積極的な活用(タブレット等)
- ・専門的な外部人材の授業での活用(全教科で年1回実施)

2) 学んだ内容を確実に身に付けさせます。

- ・チームティーチング(複数教師)による授業実施(国語・数学)
- ・「学び直し」の時間設定(月1回実施)

3) 自ら学ぶ意欲を高めます。

- ・各種検定への積極的な参加(英検・数検・漢検の受検率30%以上)
- ・家庭学習の習慣化(1日90分以上)
- ・職業や進路にかかわる啓発的な体験の充実(キャリアパスポートの活用)



支え合い

思いやりの心を  
育みます

- 【数値目標】
- 「みんなと何かをするのは楽しい」と回答(A評価)する生徒80%以上 (R1/79%)
  - 「学校が楽しい」と回答(A評価)する生徒70%以上 (R1/63%)

【具現化のための主な取組】

1) 一人一人が活躍できる場や機会を増やします。

- ・生徒がつくる学校行事の実施(体育祭・かすみ祭)
- ・生徒会活動・学級活動の充実(委員会活動の活性化・計画委員会月2回)
- ・「居場所」と「絆」のある学級集団づくり(グループ活動・係活動)

2) 生徒一人一人を大切にします。

- ・生徒一人一人に応じた指導(学級担任複数制) ・特別支援教育の充実(個別的教育支援計画・指導計画の活用)
- ・生活アンケート(年3回)、いじめアンケート(毎月)の実施

3) 道徳教育を推進します。

- ・道徳の授業の充実(全員授業公開) ・すすんで清掃する態度の育成(自問清掃)
- ・ボランティア活動の充実(クリーン作戦等)



鍛え合い

強い心・強い体を  
育みます

- 【数値目標】
- 体力テストA+Bの判定の割合60%以上 (R1/56%)
  - 「平日ゲームをする時間が1時間以下」と回答する生徒30%以上 (R1/23%)
  - 虫歯の治療率70%以上 (R1/66%)

【具現化のための主な取組】

1) 「自分」や「命」を大切にする指導を行います。

- ・思春期講座、薬物乱用防止教室等の実施(毎学期)
- ・視力・歯に関する専門家による指導

2) 体力づくりを推進します。

- ・体育の授業の工夫(運動量の確保) ・生徒が主体的に取り組む部活動(週2日休養日)
- ・体力テスト2回実施(5月・1月)

3) 早寝・早起き・朝ごはんを推進します。

- ・ノーマディアデーの実施(小学校と連携して)
- ・栄養教諭による食育授業の実施



話し合い活動の日常化

～ 出し合う→比べ合う→折り合いをつける ～